

スーパーマーケット販売統計調査

11月実績速報版・10月実績確報版(パネル 306)

- 速報版(パネル 306)について ※2013年4月実績よりパネル企業変更
毎月「同一企業 306 社(パネル)」を対象として集計します。
- 確報版(パネル 306)について ※2013年4月実績より集計定義を変更
前月に集計した速報版(パネル 306)について、より精度の高い集計を行い、
改めて確報版として公表します。

【集計項目】

- 商品分類別売上高:全店売上高(万円)・構成比(%)・全店・既存店前年同月比(%)
 - エリア別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 保有店舗別集計:全店売上高(万円)・全店・既存店前年同月比(%)
 - 集計企業数、総店舗数、総売場面積
 - 既存店総売上高(万円)、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高
- ※前年同月比(全店):前年同月営業の全店舗と当月営業の全店舗における比較
- ※前年同月比(既存店):前年同月と当月共に営業の店舗における比較

スーパーマーケット販売統計調査における商品分類

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタベーカーリー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
	一般食品		調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類	
	非食品		日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具	
その他		テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)		

スーパーマーケット販売統計調査におけるエリア分類

北海道・東北エリア	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
首都圏エリア	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
東海エリア	岐阜、静岡、愛知、三重
北信越エリア	福井、石川、富山、長野、新潟
関西エリア	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国エリア	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄エリア	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2013年12月20日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2013年12月20日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年11月実績 速報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	77,324,871	100.0%	104.5%	101.4%
食品合計	66,726,068	86.3%	105.3%	102.0%
生鮮3部門合計	25,238,967	32.6%	108.4%	104.9%
青果	9,981,561	12.9%	112.7%	108.9%
水産	6,738,841	8.7%	103.3%	100.3%
畜産	8,518,565	11.0%	107.8%	104.3%
惣菜	6,850,300	8.9%	106.1%	102.3%
日配	14,533,117	18.8%	105.3%	101.9%
一般食品	20,103,685	26.0%	101.5%	98.4%
非食品	7,310,249	9.5%	99.8%	98.3%
その他	3,288,554	4.3%	97.7%	98.1%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,420,213	50	104.5%	101.8%
首都圏エリア	29,254,313	89	107.8%	102.4%
北信越エリア	4,975,243	28	104.1%	102.4%
東海エリア	4,063,583	33	100.7%	100.3%
関西エリア	16,728,872	38	101.6%	99.5%
中国・四国エリア	5,765,693	39	104.2%	102.4%
九州・沖縄エリア	4,116,953	29	102.0%	100.7%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	951,568	65	99.6%	100.8%
4~10店舗	4,199,420	87	102.3%	102.5%
11~25店舗	10,163,845	71	101.4%	100.6%
26~50店舗	14,812,053	44	104.0%	101.9%
51店舗以上	47,197,985	39	105.6%	101.3%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	74,365,664	
総店舗数 (店舗)	7,289	店舗平均月商 (万円)	10,608	
総売場面積 (㎡)	11,610,945	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2013年12月20日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2013年10月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	78,273,187	100.0%	103.2%	100.4%
食品合計	68,423,478	87.4%	103.9%	100.9%
生鮮3部門合計	25,750,931	32.9%	106.5%	103.3%
青果	10,738,160	13.7%	108.7%	105.5%
水産	6,732,649	8.6%	103.2%	100.3%
畜産	8,280,122	10.6%	106.5%	103.1%
惣菜	7,093,759	9.1%	104.1%	100.6%
日配	15,200,406	19.4%	103.8%	100.8%
一般食品	20,378,382	26.0%	100.7%	98.3%
非食品	6,041,870	7.7%	97.2%	95.9%
その他	3,807,839	4.9%	97.8%	98.2%

エリア別集計

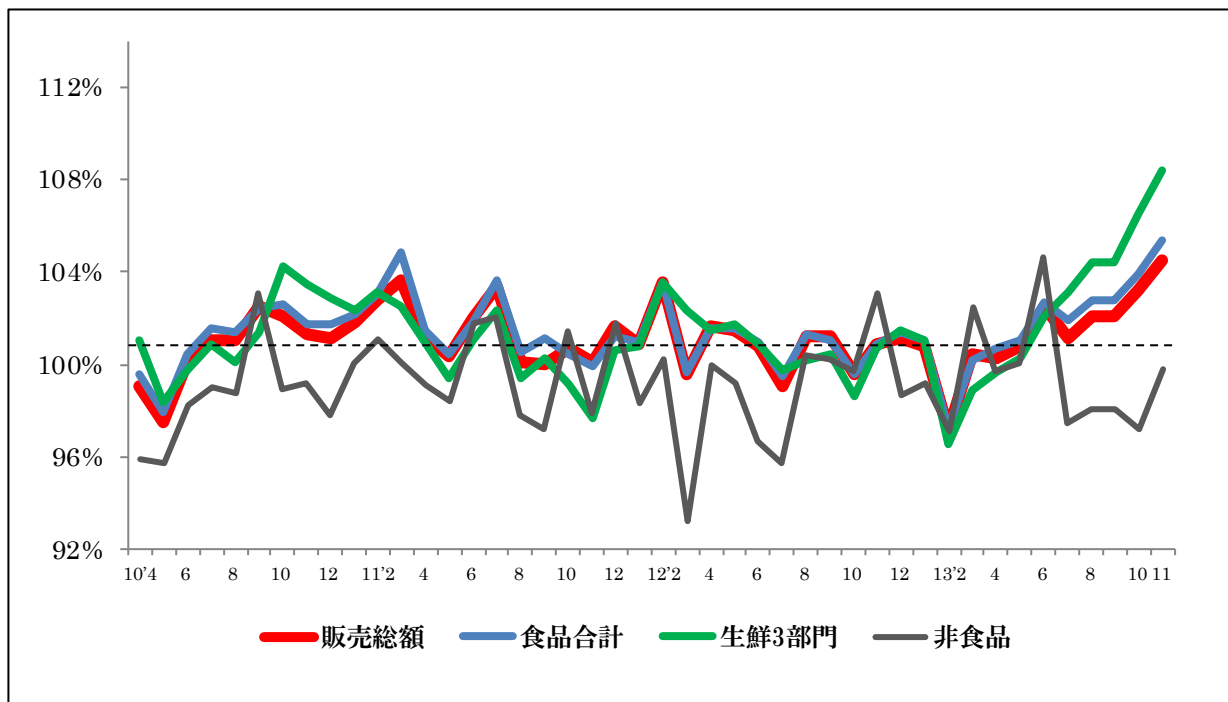
エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	12,524,244	50	103.2%	100.5%
首都圏エリア	29,741,989	89	105.4%	101.1%
北信越エリア	5,113,364	28	102.7%	101.2%
東海エリア	4,112,354	33	100.5%	100.3%
関西エリア	16,581,184	38	101.1%	98.9%
中国・四国エリア	5,926,846	39	102.1%	100.5%
九州・沖縄エリア	4,273,206	29	102.5%	101.3%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	976,899	65	98.4%	99.3%
4~10店舗	4,287,361	87	99.3%	99.1%
11~25店舗	11,203,525	74	101.4%	100.0%
26~50店舗	14,272,230	41	102.2%	100.4%
51店舗以上	47,533,172	39	104.4%	100.7%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	75,324,768	
総店舗数 (店舗)	7,270	店舗平均月商 (万円)	10,767	
総売場面積 (㎡)	11,579,382	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

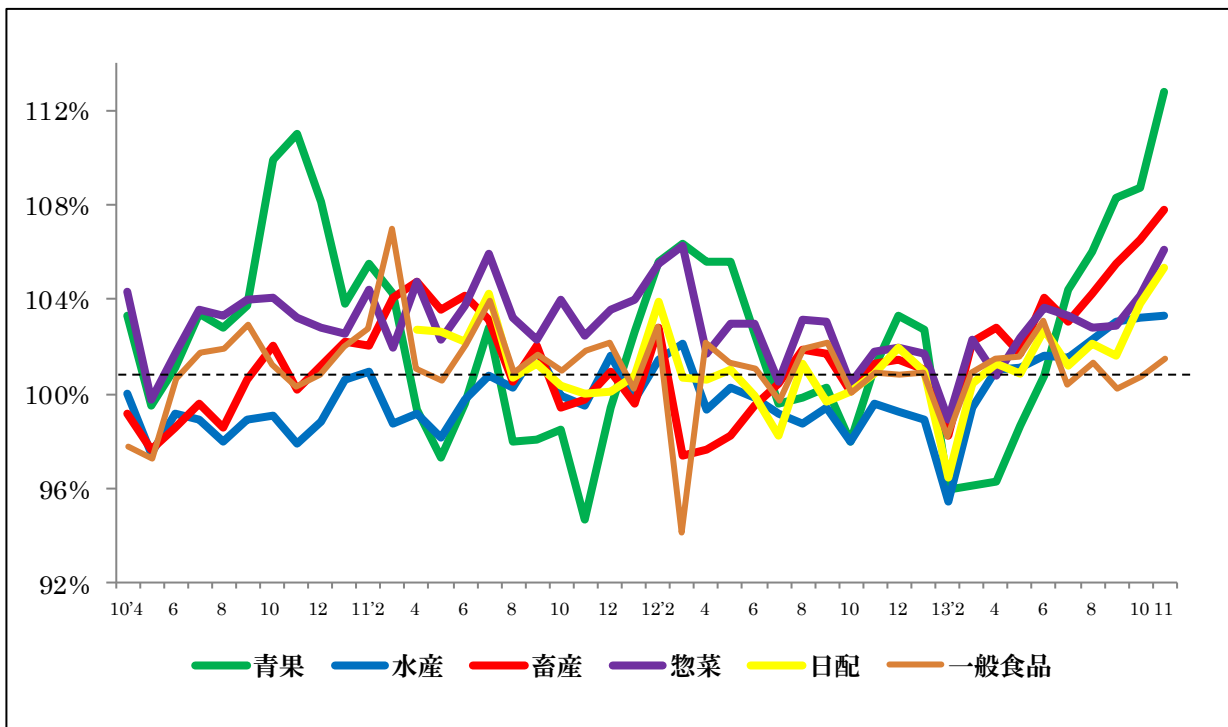
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年11月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2013年10月までは確報版による前年同月比、2013年11月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2013年11月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2013年10月までは確報版による前年同月比、2013年11月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別11月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2013年11月(平年との比較)

上旬は全国的に平年よりやや気温が高く、中旬以降は北海道を除き低い気温となった

前年同月(2012年11月)と比較

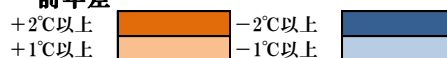
上旬は西日本を中心に前年より気温が高く、中旬は東日本を中心に気温が低く、下旬は北海道・東北で高くなった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2013年11月(今年)			2012年11月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	1.4	0.0	2.1	1.8	1.3	-1.1	-0.4	-1.3	3.2
東北地方	0.7	-1.7	0.8	0.8	0.5	-1.0	-0.1	-2.2	1.8
関東甲信地方	0.9	-1.7	0.1	-0.5	-0.4	-0.8	1.4	-1.3	0.9
北陸地方	1.0	-2.1	-0.3	-0.8	-0.6	-1.0	1.8	-1.5	0.7
東海地方	1.0	-1.9	-1.1	-0.6	-0.9	-0.6	1.6	-1.0	-0.5
近畿地方	1.1	-1.7	-0.8	-1.0	-0.9	-0.8	2.1	-0.8	0.0
中国地方	1.4	-1.6	-1.2	-0.8	-0.5	-0.3	2.2	-1.1	-0.9
四国地方	1.4	-1.7	-1.5	-0.9	-1.2	-0.9	2.3	-0.5	-0.6
九州北部	1.6	-2.0	-1.7	-1.5	-1.1	-1.1	3.1	-0.9	-0.6
九州南部・奄美地方	1.2	-1.9	-2.1	-1.6	-1.1	-1.1	2.8	-0.8	-1.0

平年差



前年差



②日照時間

2013年11月(平年との比較)

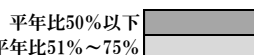
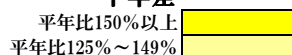
関東甲信越でやや長かったほかはほぼ平年並みの日照時間となった

前年同月(2012年11月)と比較

上・中旬は北海道・東北でやや長く、下旬は全国的に長い地域が多かった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年11月(今年)			2012年11月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	104	113	85	59	84	87	45	29	-2
東北地方	114	110	84	68	74	84	46	36	0
関東甲信地方	85	132	132	128	112	84	-43	20	48
北陸地方	114	99	78	45	75	93	69	24	-15
東海地方	87	119	124	111	111	84	-24	8	40
近畿地方	91	120	127	97	99	75	-6	21	52
中国地方	102	105	110	86	97	79	16	8	31
四国地方	86	115	114	105	109	66	-19	6	48
九州北部	93	91	91	85	104	69	8	-13	22
九州南部・奄美地方	92	107	134	96	112	76	-4	-5	58

平年差



前年差



③降水量

2013年11月(平年との比較)

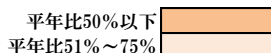
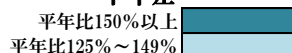
北海道・北陸・九州を除いて全国的にやや少ない降水量の地域が多かった

前年同月(2012年11月)と比較

上旬は北海道・東北で少なく、中旬は全国的に前年に比べかなり少ない地域が多かった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2013年11月(今年)			2012年11月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	164	92	147	304	164	135	-140	-72	12
東北地方	81	66	107	225	154	60	-144	-88	47
関東甲信地方	89	21	34	72	199	88	17	-178	-54
北陸地方	120	192	162	147	188	72	-27	4	90
東海地方	109	46	74	40	225	146	69	-179	-72
近畿地方	104	75	83	34	270	131	70	-195	-48
中国地方	107	115	83	59	209	102	48	-94	-19
四国地方	55	63	130	22	195	79	33	-132	51
九州北部	185	57	132	101	271	72	84	-214	60
九州南部・奄美地方	108	53	98	102	163	85	6	-110	13

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

12月調査結果(11月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2013年12月20日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

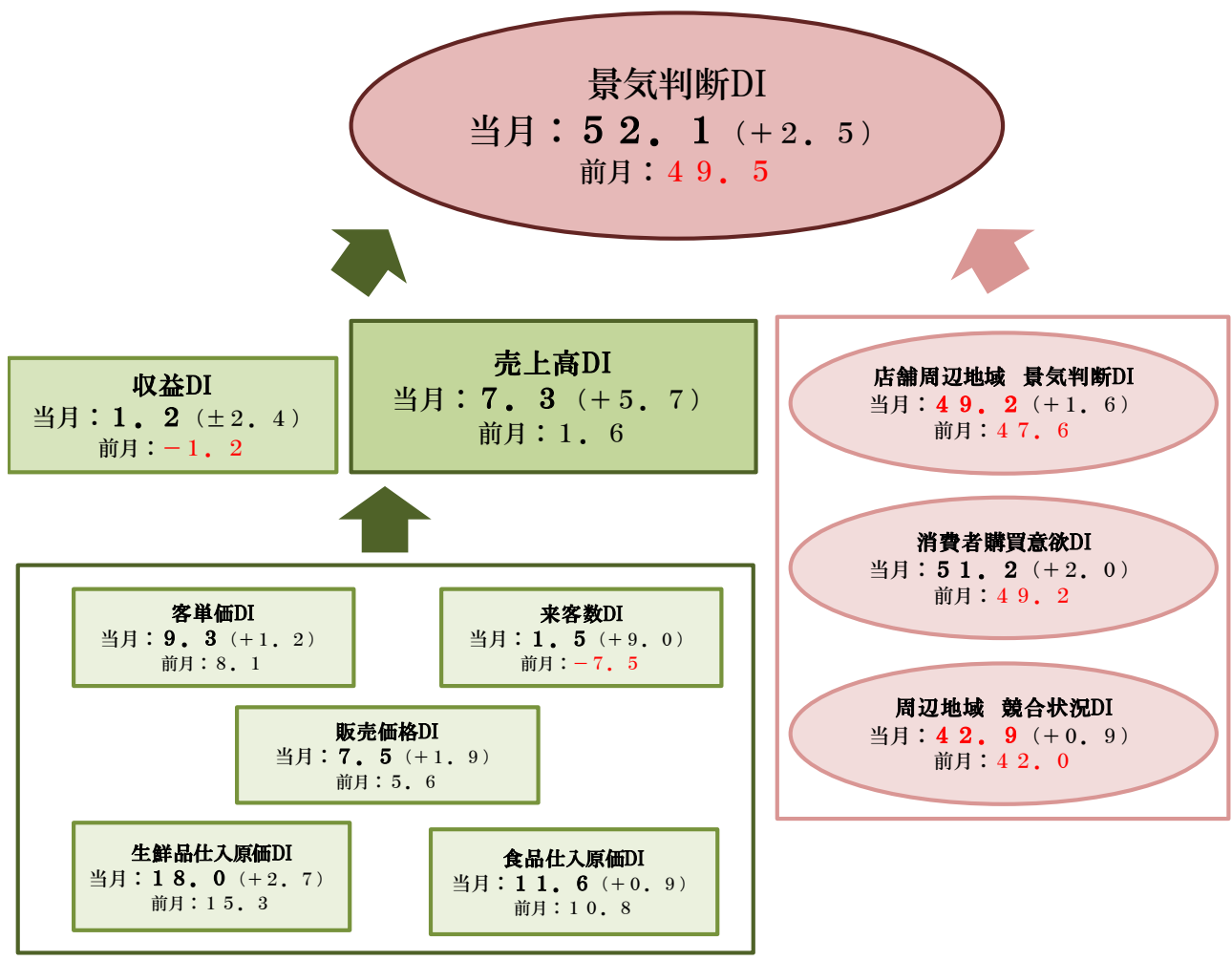
景気判断 DI（現状判断）は 52.1 と調査開始以来最高値を記録、来客数 DI の上昇目立つ

11月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は52.1と上昇し2010年4月の調査開始以降はじめて判断の分かれ目となる50を上回り、これまでの最高値を更新する結果となった。

経営動向調査によると売上高DIが7.3と上昇し、収益DIも1.2と共にプラスとなった。生鮮品仕入原価DIが再び上昇し18.0と高い水準となっているが、販売価格DI7.5や客単価DI9.3があわせて上昇している。客数DIの上昇幅が大きく(+9.0)で1.5となったことが、売上高DIの上昇に大きく貢献したと考えられる。

景況感調査は競合状況DIを除き、景気判断DIや消費者購買意欲DIが再び上昇し、共に過去最高値を更新する結果となった。頭打ち傾向をみせていた先行き判断についても今月は競合状況を除き、再び上昇をみせており、現状判断とのかい離もやや縮小する結果となった。

2013年11月 スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



- 2013年11月キーワード TOP 3**
1. 生鮮相場高(特に青果相場)
 2. 天候要因(晴天多く、中旬以降気温低下)
 3. 週末取り組み強化(昨年より土曜日が一回多い)

スーパーマーケット経営動向調査

当月：11月速報版集計 232社
前月：10月確報版集計 261社

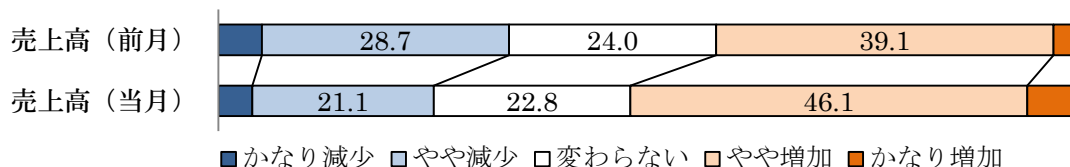
II. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」が減少（DIは上昇）

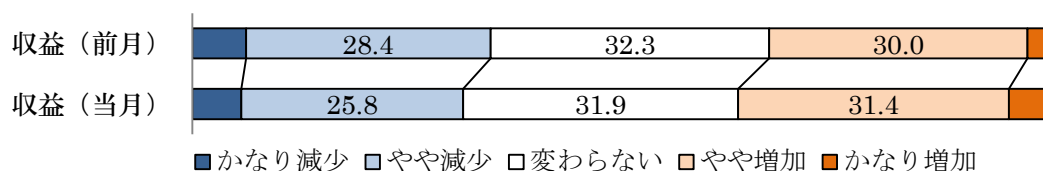
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.0	28.7	24.0	39.1	3.1	1.6
売上高（当月）	3.9	21.1	22.8	46.1	6.1	7.3



②収益 DI

「かなり増加」がわずかに増加し、「やや減少」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

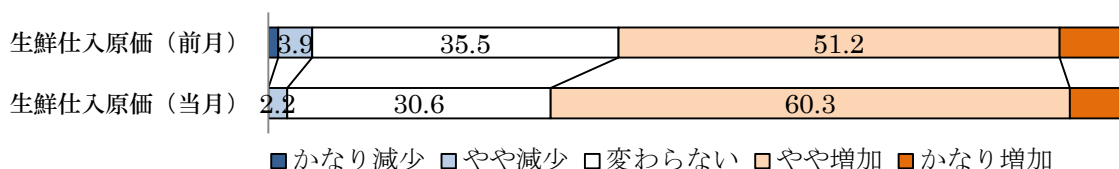
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	6.2	28.4	32.3	30.0	3.1	-1.2
収益（当月）	5.7	25.8	31.9	31.4	5.2	1.2



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が増加し、「変わらない」が減少（DIは小幅に上昇）

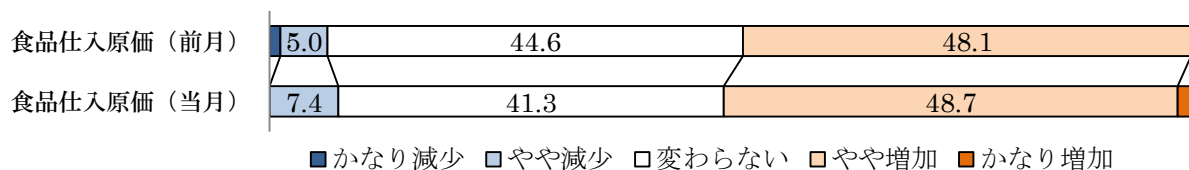
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	1.2	3.9	35.5	51.2	8.2	15.3
生鮮仕入原価（当月）	0.0	2.2	30.6	60.3	7.0	18.0



④食品仕入原価 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

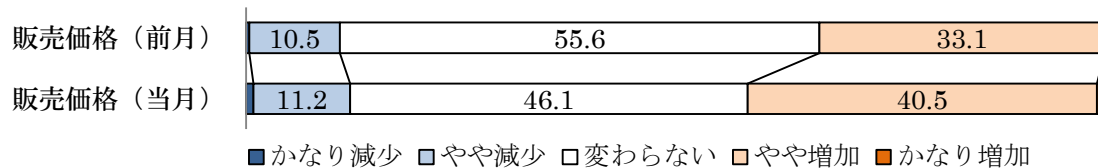
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	1.2	5.0	44.6	48.1	1.2	10.8
食品仕入原価（当月）	0.0	7.4	41.3	48.7	2.6	11.6



⑤販売価格 DI

「やや増加」が増加し、「変わらない」が減少（DIは小幅に上昇）

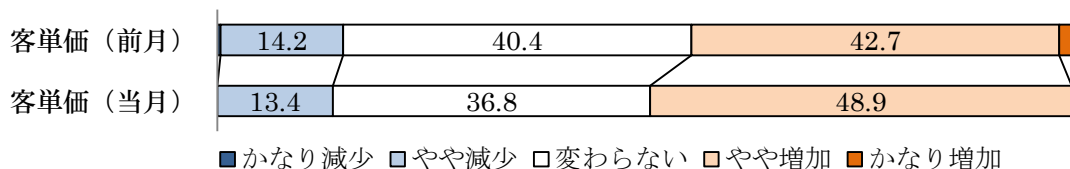
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.4	10.5	55.6	33.1	0.4	5.6
販売価格 (当月)	0.9	11.2	46.1	40.5	1.3	7.5



⑥客単価 DI

「やや増加」が増加し、「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

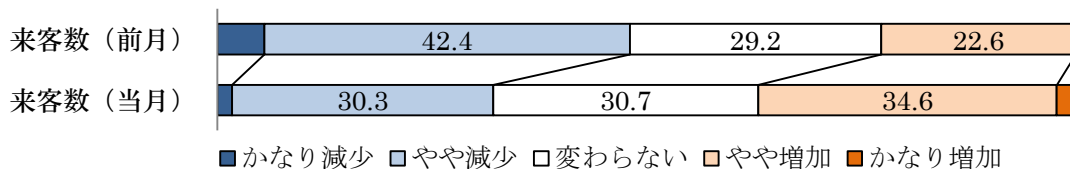
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.4	14.2	40.4	42.7	2.3	8.1
客単価 (当月)	0.0	13.4	36.8	48.9	0.9	9.3



⑦来客数 DI

「やや増加」が増加し、「やや減少」が減少（DIは大幅に上昇）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.4	42.4	29.2	22.6	0.4	-7.5
来客数 (当月)	1.7	30.3	30.7	34.6	2.6	1.5

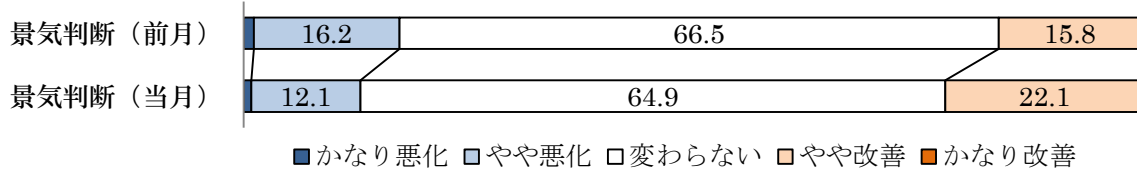


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

「やや改善」が増加し、「やや悪化」が小幅に減少（DIは上昇）

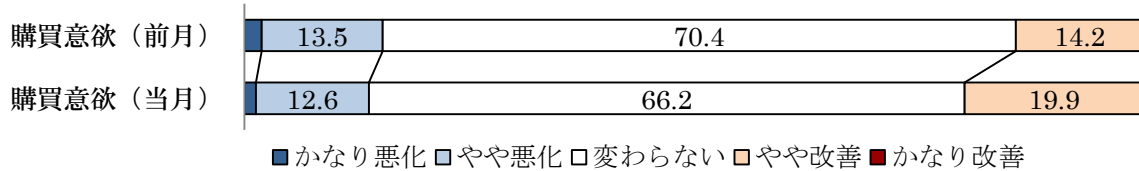
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.2	16.2	66.5	15.8	0.4	49.5
景気判断（当月）	0.9	12.1	64.9	22.1	0.0	52.1



②消費者購買意欲 DI

「やや改善」が増加し、「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

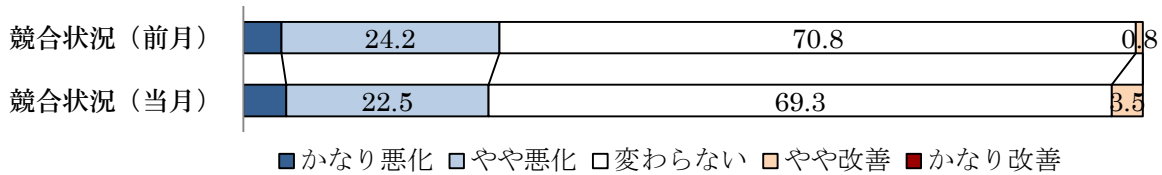
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.9	13.5	70.4	14.2	0.0	49.2
購買意欲（当月）	1.3	12.6	66.2	19.9	0.0	51.2



③周辺競合状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

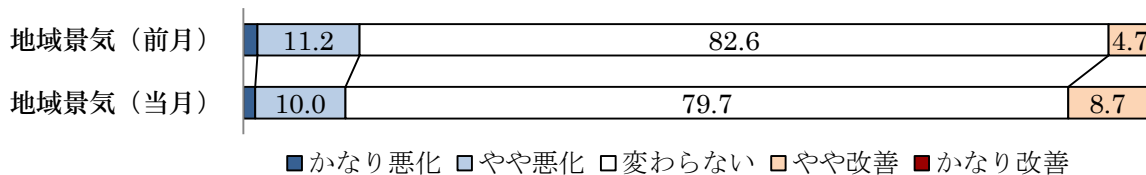
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.2	24.2	70.8	0.8	0.0	42.0
競合状況（当月）	4.8	22.5	69.3	3.5	0.0	42.9



④周辺地域景気状況 DI

「やや改善」が小幅に増加し、「変わらない」が小幅に減少（DIは小幅に上昇）

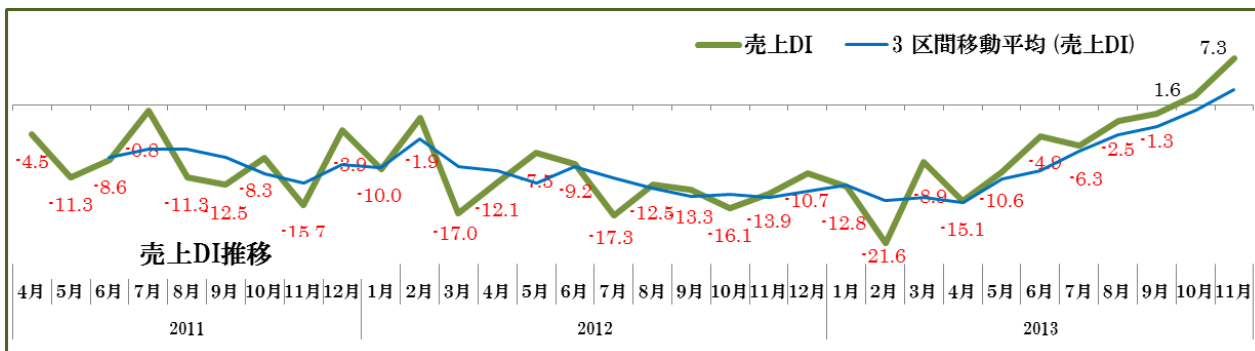
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.6	11.2	82.6	4.7	0.0	47.6
地域景気（当月）	1.3	10.0	79.7	8.7	0.4	49.2



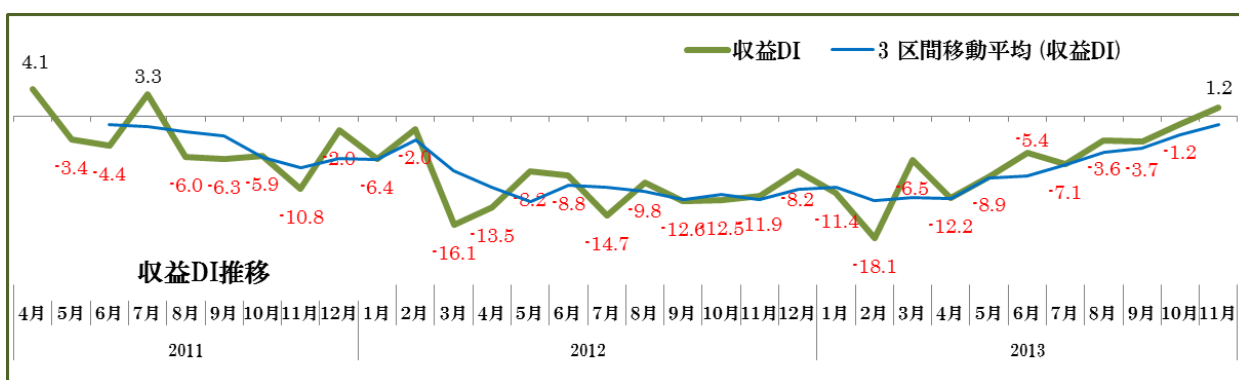
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

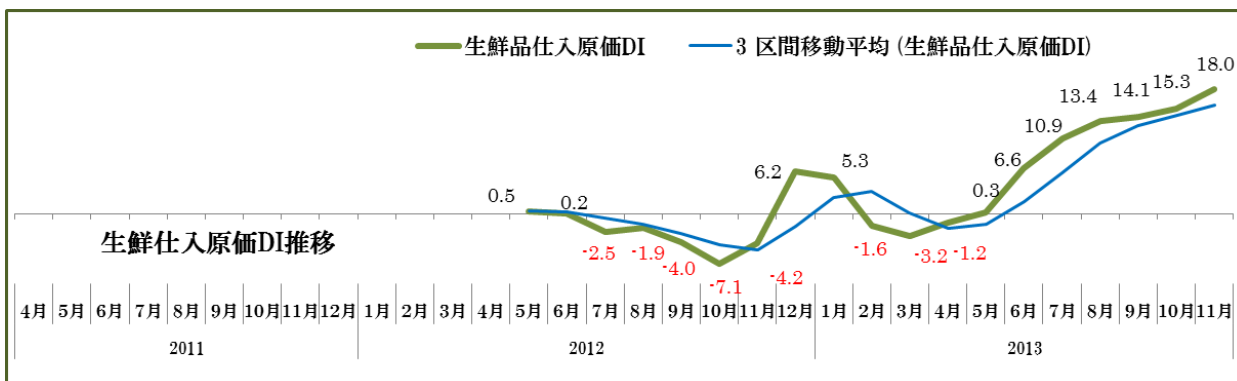
①売上高DI 改善傾向が続き、DIは2ヵ月連続のプラスとなり過去最高値を記録



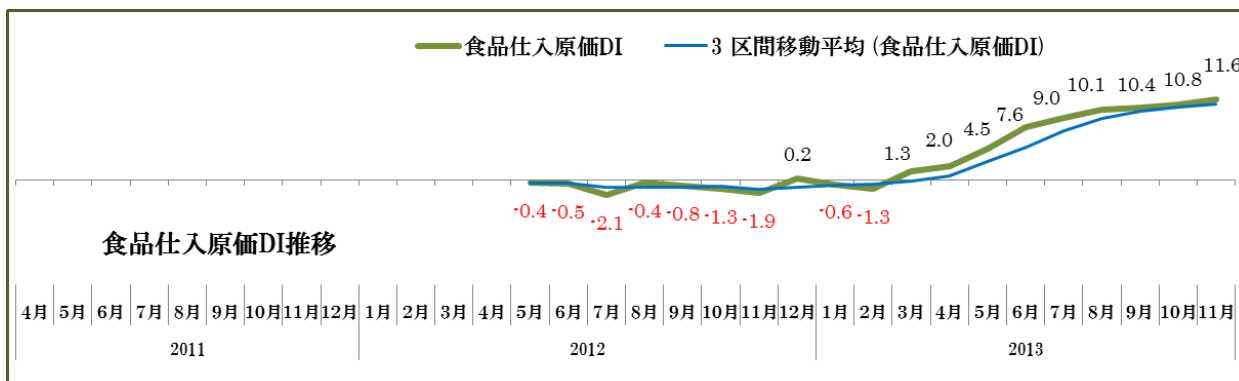
②収益DI ゆるやかな改善傾向が続き、DIはプラス値を示す



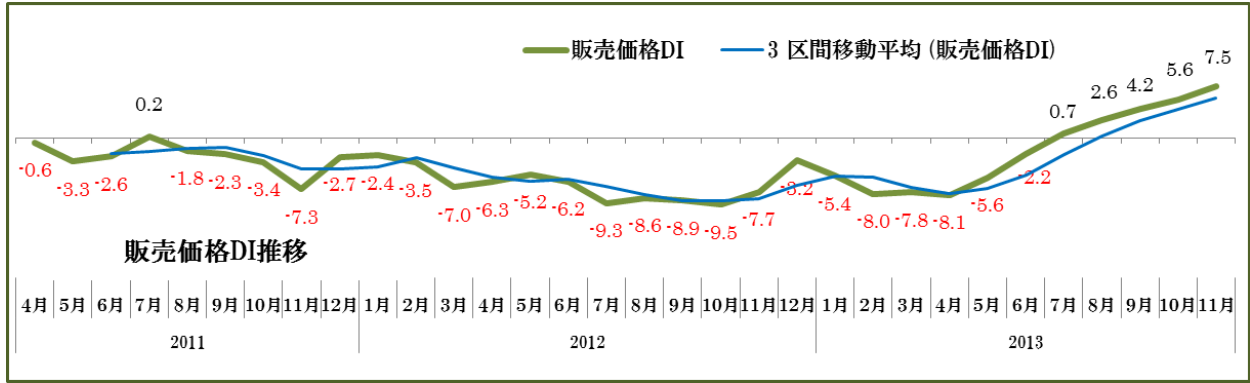
③生鮮仕入原価DI 上昇傾向が続く



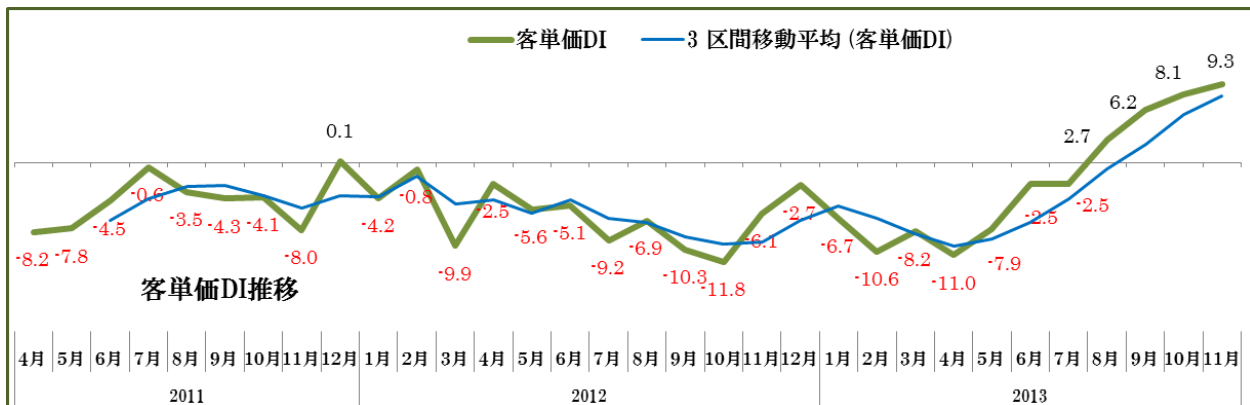
④食品仕入原価DI 上昇傾向一服も高止まり傾向続く



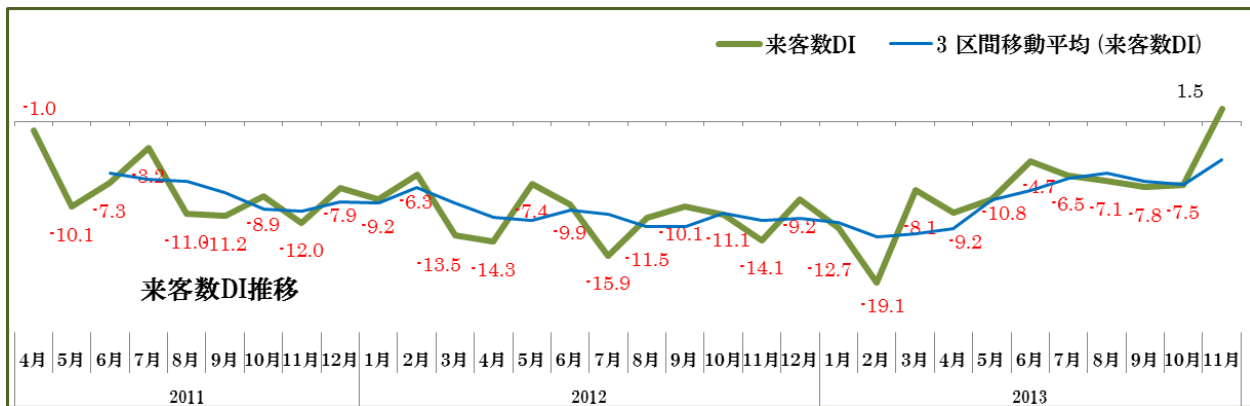
⑤販売価格 DI 4月以降上昇傾向が続く



⑥客単価 DI 4月以降上昇傾向が続く



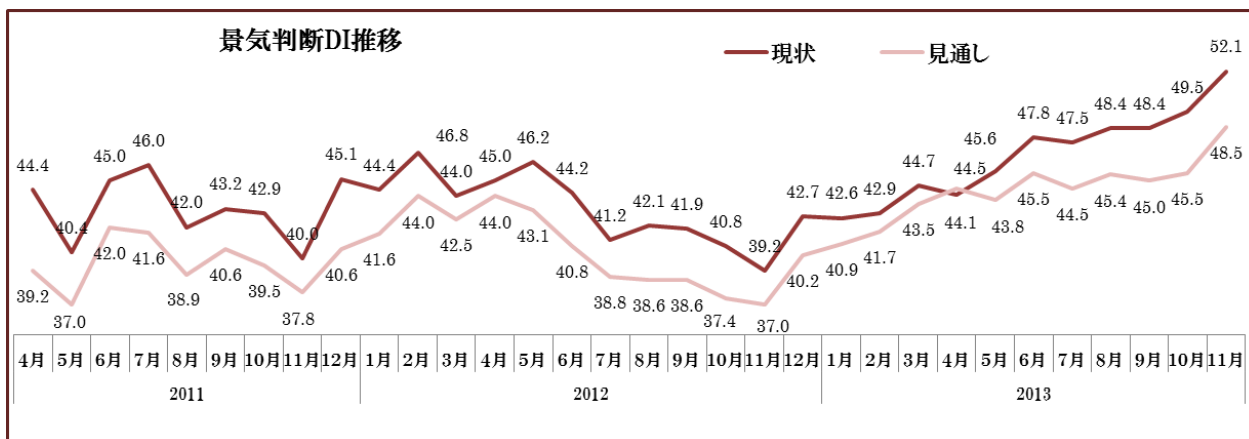
⑦来客数 DI 直近急激な上昇をみせる



2. スーパーマーケット景況感調査

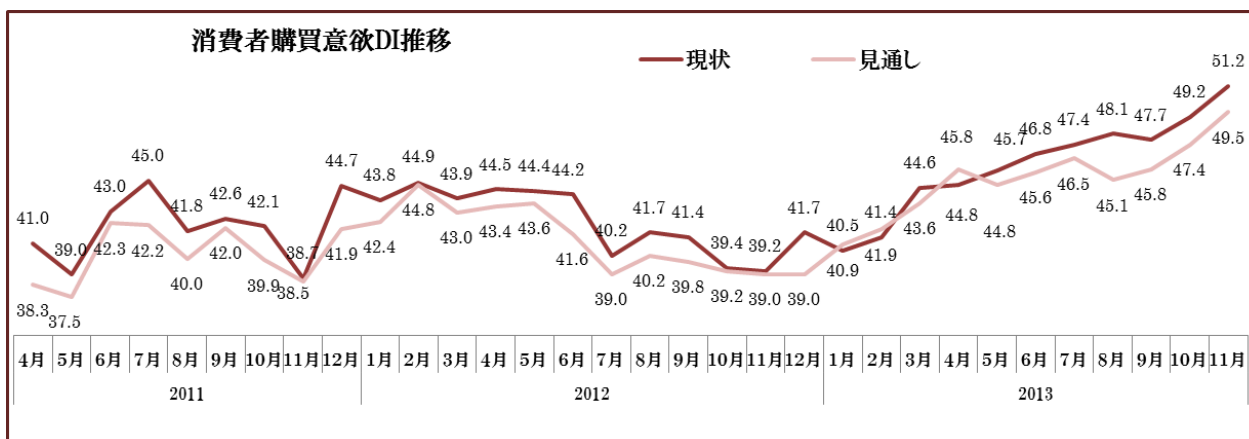
①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断は上昇し基準の 50 をはじめて突破、見通し判断も上昇し過去最高値を記録



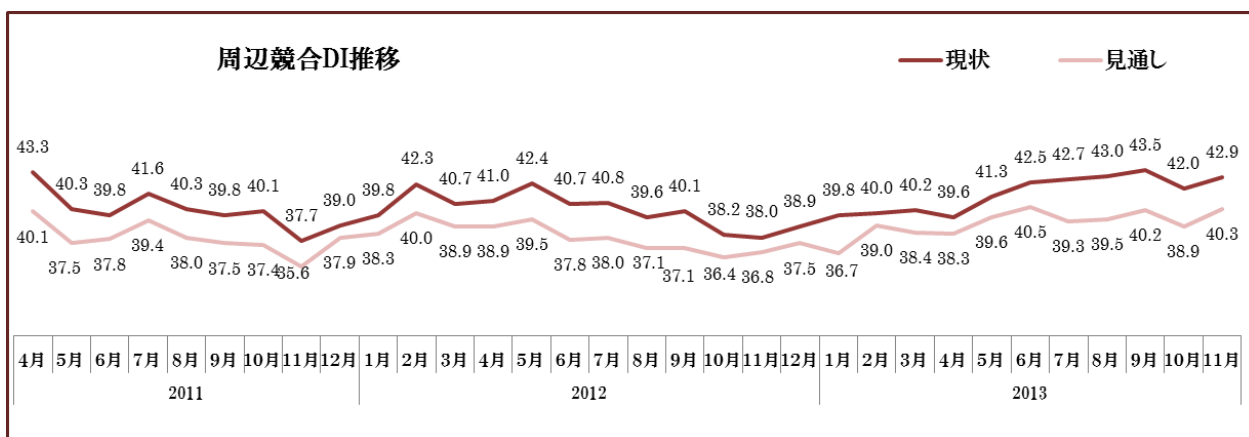
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

上昇傾向が続く。現状判断は 50 を突破し、現状・見通し共に過去最高値を記録



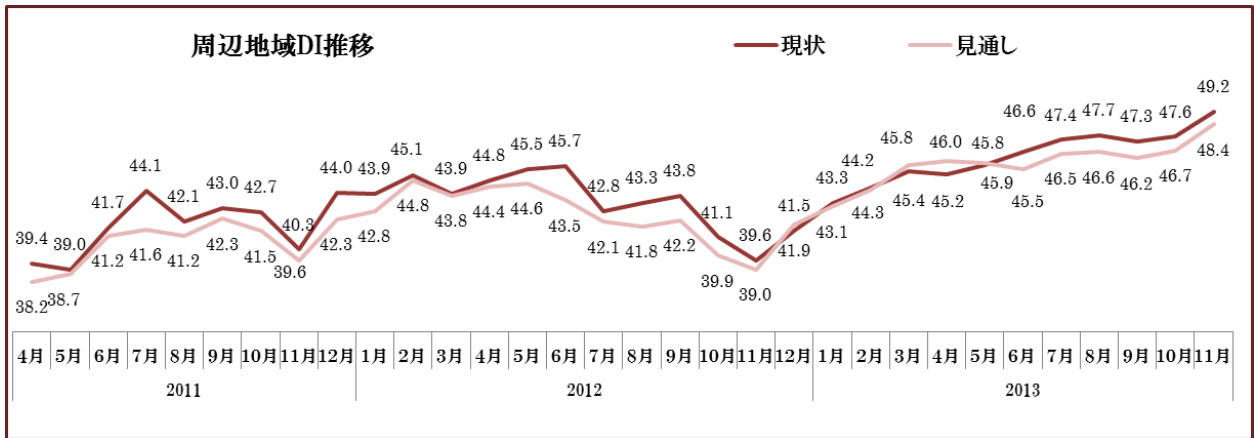
③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共にやや改善

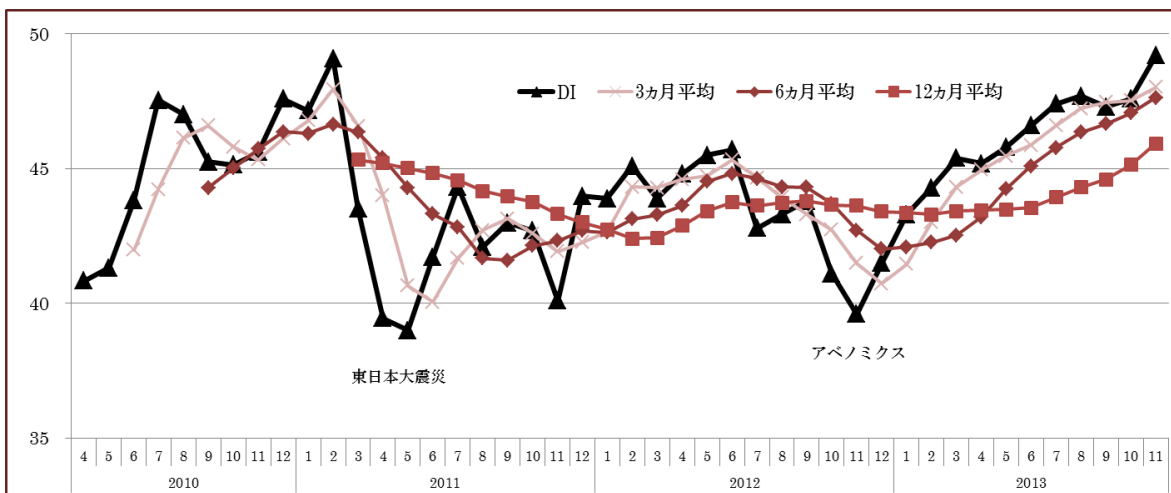


※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

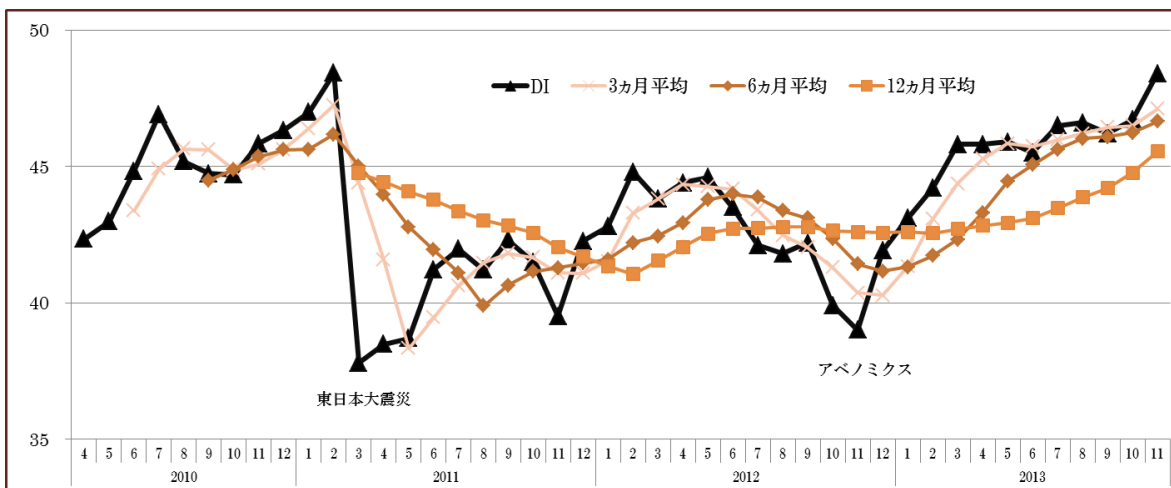
当月DIが大きく改善をみせたため、各移動平均線に再び上昇基調がみられている。

単月DIは、2012年12月からの上昇傾向が続いており、2011年3月の東日本大震災前の水準まで回復した。また横ばい傾向が顕著にみられていた見通し判断についても再び上昇をみせ、現状判断とのかい離はやや縮小する結果となった。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）



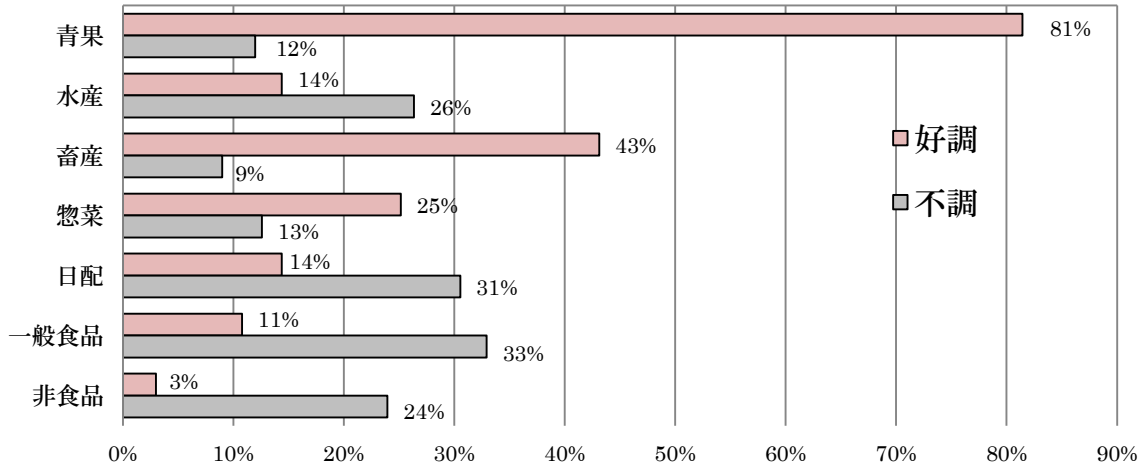
III. カテゴリー別動向

①好調カテゴリー・不調カテゴリー

好調回答割合上位カテゴリー：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

不調回答割合上位カテゴリー：①「一般食品」②「日配」③「水産」

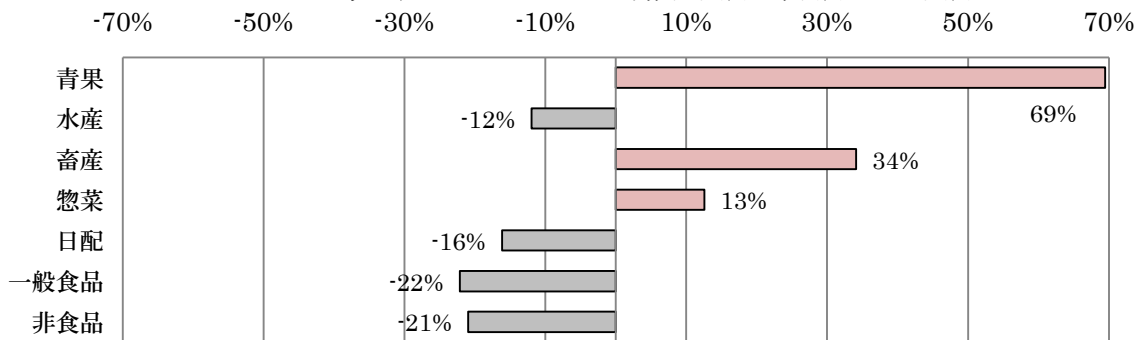
2013年11月 カテゴリー別好不調 (回答割合%)



好調% > 不調%：①「青果」②「畜産」③「惣菜」

好調% < 不調%：①「一般食品」②「非食品」③「日配」

2013年11月 カテゴリー別好不調 (好調% - 不調%)



※N=167

②カテゴリー別主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	青果・果物(相場高)、小分け販売強化	
水産		塩干(価格上昇)、鍋需要減(気温高)、入荷不足
畜産	相場高、牛・豚肉、鍋需要(気温低)	(気温高)鍋需要減
惣菜	揚げ物、取り組み強化	
日配	(洋日配)	和日配(練り物)、(冷凍食品)
一般食品	(ボジョレーヌーボー)	米(相場安)、酒、菓子、価格競争、他業態競合
非食品		他業態との競合、

() は少数コメント